

広報紙「雪華」創刊10年に寄せて

柳本 雄司

(全学同窓会相談役、元全学同窓会長)

広報紙「雪華」が創刊10年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。あわせて、編集に携わってこられた方々のご労苦にお礼申し上げます。

創刊号は、平成16年に全学同窓会連絡協議会の広報紙として発刊され、当初は年2回刊行されておりましたので、10年目の今回で12号を数えます。

創刊のころを振り返りますと、新潟大学の各学部を一つにまとめた全学的な同窓会が欲しいというのは、新潟大学にとっても、同窓会関係者にとっても、長い間の悲願でありました。前号11号でも「幻の全学同窓会」と題する寄稿が掲載されておりましたが、昭和40年代にも全学同窓会を結成すべしとの機運は各学部を横断して高まっておりました。しかし、中心になる方々の死去や転勤などがあり頓挫し、結成は幻に終わったということでした。

ところが、平成14、15年ころになりますと、国立大学も法人化の動きが本格化してまいり、大学評価の基準の一つに「同窓生の母校への寄与」が求められているという事情もあり、またなしで全学同窓会結成へ突き進みました。

その創刊号で、広報紙のタイトル(紙名)の募集をし、多数の提案の中から「雪華」に決定し、第2号からのタイトルになりました。「新潟大学学章の雪の結晶にちなみ、同窓生の才能を結集し結晶化する」という意味だそうです。創刊号から前号まで、通して拝見いたしますと、新潟大学の知性を象徴するように毎号品格高くまとまっており、イラストや写真なども多用して読みやすく工夫し、紙面のすみずみまで心を配って編集しておられることが読み取れます。さらに驚くべきことは、編集をされておられる方の自己抑制的な姿勢には驚嘆いたします。運営委員会広報部の編集であることは、各号の巻末に「広報部より」というコメントがあるので分かりますが、部長さんがどなたで、誰が編集長をされてご苦労をされておられるのか記載がありません。格調高いイラストもさりげなく紙面を引き立てておりますが、どなたのご協力によるものか、あえて明らかにしていません。毎号、特集として「新潟大学図書館」とか「学生歌・校旗・校章」「小片コレクション」「旧新潟師範学校記念館」「悠久会館」「五十嵐キャンパス」「旭町キャンパス」「六花寮」「校友会運動部」と、相当の時間と労力をかけて取材してまとめられておられますが、たいへんご苦労のことと拝察いたします。

昨年夏より、新潟大学広報センターでも立派な季刊広報誌「六花」を創刊され、「同窓会情報」欄も新設していただいております。掘り下げた特集的な記事はそちらにお任せして、同窓会の広報紙は各学部の動静やトピックス、活躍している同窓生の紹介、全学同窓会の理事会・運営委員会の決定事項など、多少泥臭くとも実名を出して更に親しまれる「雪華」に変身していてもよいのではないのでしょうか。

「雪華」10周年に寄せてお祝いと感想を述べさせていただきました。



広報紙「雪華」の
バックナンバーはこちら

<http://www.niigata-u.ac.jp/dousoukai/sekka/>

CONTENTS

i ◎広報紙「雪華」創刊10年に寄せて……柳本 雄司

ii ◎新大サポーター連携推進室の設置と全学同窓会事務局の移転
◎平成23年度会計報告 ◎全学同窓会雪華支援事業(平成24年度)

iii ◎新潟大学全学同窓会メールマガジンを発行します
◎日本学士院賞 受賞

iv~v ◎新潟大学同窓生の新図書館利用について

vi ◎最新式の筋トレ器具が卒業生から校友会運動部に
寄贈されました

vii 最新研究・Hot Research
◎田んぼで水害対策? 田んぼダムの取組
◎神経難病の克服それが私たちの研究使命です

● 新大サポーター連携推進室の設置と ● 全学同窓会事務局の移転

新潟大学全学同窓会事務局
新大サポーター連携推進室

平成25年4月1日、新潟大学に「新大サポーター連携推進室」(以下、「推進室」)が設置されました。これに伴い別棟にあった全学同窓会事務局も移転し、大学本部の1階の「推進室」(正面玄関を入れて右手すぐの部屋)と同室になりました。今後、「推進室」と全学同窓会は相互に協力しながら、同窓生をはじめ地域や企業など大学の応援団(サポーター)との連携をより深めるための取り組みを行ってまいります。オープンな雰囲気になっておりますので、来学の際は気軽にお立ち寄りください。



平成23年度会計報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

平成24年度 全学同窓会第2回理事会(6月20日)において23年度一般会計の監査結果報告が行われました。審議の結果、承認されました。

◆収入の部

費 目	予算額(円)	実績(円)
繰越金	7,339,789	7,339,789
賦課金	270,000	270,000
分担金	5,000,000	5,000,000
協賛金	2,400,000	2,310,000
一般広告掲載	400,000	300,000
カード事業より繰り入れ	250,000	100,000
賛助会費	5,000,000	5,788,001
雪華ファイル	10,000	0
受取利息	1,500	3,028
合 計	20,671,289	21,110,818

◆支出の部

費 目	予算額(円)	実績(円)
新潟大学事業共催費	1,500,000	300,000
雪華支援事業	3,000,000	3,500,000
学生支援事業特別会計	4,000,000	4,000,000
人件費	1,200,000	1,299,600
事務・通信費	1,500,000	1,115,785
交流会・会議費	1,000,000	662,187
旅費	60,000	1,100
広報紙作成費	2,000,000	1,449,000
HP充実費	500,000	400,890
会員等サービス事業	1,000,000	445,954
旗の作成費	210,000	0
郵便口座振替手数料	200,000	238,160
銀行口座振替手数料	25,000	42,840
予備費	4,476,289	0
小 計		13,455,516
剰余金(次年度繰越)		7,655,302
合 計	20,671,289	21,110,818

全学同窓会雪華支援事業(平成24年度)

皆様からの賛助会費をもとにした公募型の学生・大学支援事業です。平成24年度は単年度型(A)12件、複数年度型(B)1件を採択し総額300万円を助成しました。

雪華支援事業(A)	
ヨット部	ヨット競技における更なる技術向上及び精神の鍛練、全国大会等での上位入賞を目指す
基礎スキー部	全国大会上位入賞に向けての練習活動の強化
合唱団	全日本合唱コンクール全国大会出場、及び定期演奏会を始めとする各種演奏会へ向けた活動の充実
吹奏楽部	演奏会に向けて活動の充実及び編成の調整
卓球部	新潟大学オープン卓球大会を始めとする卓球部の県・市卓球連盟への協力及び各種大会における活躍
鉄道研究部	鉄道、公共交通を通じた社会貢献活動及び研究活動
陸上競技部	全日本大学駅伝対校選手権大会入賞に向けた活動の強化
ラグビーフットボール部	全国大会優勝に向けた道具の補充
弓道部	全国大会出場、入賞に向けた練習環境の整備
体操競技部	全国大会出場に向けた体操設備の補充
探検部	2012ラフティングユース世界大会
糸東流空手道部	全日本大学空手道選手権大会出場・北信越大学空手道選手権大会上位入賞に向けての練習設備の強化
雪華支援事業(B)	
附属図書館旭町分館(医歯学図書館)	「雪華闘病記文庫」及び卒業生・一般市民向け図書整備(24.9～27.3)



新潟大学全学同窓会 メールマガジンを 発行します

会員の皆様へ迅速に情報をお伝えする手段の1つとして、今年度より電子メールによるメールマガジン(メルマガ)を発行いたします。購読を希望される同窓会員の方は、右記の要領にてお申し込みください。



同窓会メールマガジン新規購読 申し込み方法

購読希望の方は、以下の要領でメールをお送りください。

メールのタイトル

同窓会メルマガ配信希望

メールのあて先

n-zendoso@adm.niigata-u.ac.jp

メールの本文

配信を希望するメールアドレス※
「あなたのお名前」「卒業年(修了年)と学部(学科)」

メールをいただいた方には確認のメールをお送りします。1週間以上経過しても確認メールが届かない場合には、下記の「問合せ専用アドレス」までお問合せください。

問合せ専用アドレス

info-zendoso@adm.niigata-u.ac.jp

※できるだけ携帯電話以外のメールアドレスの登録をお願いします。

日本学士院賞 受賞

この度、本学の卒業生である鍋島陽一氏(京都大学名誉教授)が第103回日本学士院賞を受賞されます。対象となった研究題目は「Klotho familyの発見とその分子機能の解析を基盤とした生体恒常性維持機構の研究」で、ヒト老化疾患の予防、治療法の開発、ひいては健康な老化の実現に道を開くご研究です。

本紙では学生時代の鍋島氏について同級生の吉井光信氏にご寄稿いただきました。

若かりし日の鍋島陽一くん

吉井 光信(医学部 昭47年卒)

鍋島陽一くんとは医学部に入学した昭和41年から卒業までの6年間、同級生として共に学んだ仲である。入学当初は短髪で眼光鋭く、異彩を放っていた。恐る恐る話しかけたところ、強面だった彼が相好を崩し、女性的とも思える優しい語り口に驚かされたのである。学園紛争が華やかなりし時代であり、我々も時代の渦に巻き込まれていった。彼は誰かに追われていたのか、一夜の宿を求められたことがある。入学してから3年目に入り、医学部キャンパスでの授業が始まった。この頃より生化学教室に出入りし、故・緒方規矩雄教授より研究の手ほどきを受けたと聞く。研究にのめり込んだのか、或いは単にズボラなのか、通学もサンダル履きで白衣姿のことがあり、激写した(写真)。同級の石黒曜子さんとは学内でコンビを組んでおり、将来の伴侶となられた。曜子さんは彼が発見したクロトー(klotho)遺伝子の名付け親である。卒業アルバムに「卒業三十年後を思い浮かべて」と題して彼曰く、「酒をくみかわしながら、生命現象の議論で夜を明かす、こんな事では、肝硬変か膵炎だな」。



昭和44年初夏に
学校町で筆者撮影

新潟大学同窓生の 新図書館利用に ついて



図書館全景

（新潟大学附属図書館の リニューアルにあたって）

附属図書館長 山口芳雄

平成25年4月、附属図書館はリニューアル・オープンいたしました。同窓生も気軽に利用できる明るく開放的な図書館に生まれ変わりました。1階の「インフォメーションラウンジ」は、待ち合わせや打ち合せに、同じく260席のライブラリー・ホールは、各種イベントや交流の場としてご活用いただけます。蔵書・学術資料の検索、閲覧環境、図書貸し出し等、さまざまなサービスも一層充実させており、全国に誇れる図書館になったと自負しております。全学同窓会からのご支援に感謝申し上げますとともに、同窓生のみなさまの来館を心よりお待ちしております。



明るくなった館内



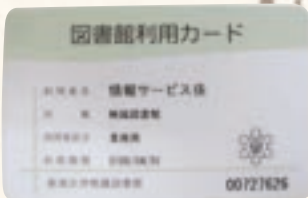
利用カードを インターネットで申し込みます

利用カードは申込時に受け取れますが、インターネットで申し込むこともできます。

附属図書館ホームページ掲載の図書館利用者カード発行申込書をダウンロードし、必要事項を記入し、電子メールに添付して情報サービス係にお送りください。来館時に受け取ることができます。免許証等の氏名、住所等を確認できるものをご持参ください。

◎申込書リンク先

http://www.lib.niigata-u.ac.jp/services/guides/card_u.html



図書館利用者
カード

貸出冊数を増加

利用者	～25年3月	25年4月～	備考
全学同窓会会員 (新潟大学カード入会者)	5冊以内	10冊以内	貸出期間 14日以内
同窓生	2冊以内	5冊以内	貸出期間 14日以内

※新潟大学カードの図書貸出機能は
ございません。

ANA CROWNE PLAZA
NIIGATA

より輝く、明日のために

ANAクラウンプラザホテル新潟
〒950-8531 新潟市中区沢方1-5-20
TEL. 025-245-3333
www.anacrowneplaza-niigata.jp

インターネットはAstec

現在、新潟大学の五十嵐寮・六花寮にてインターネット設備を提供させていただき多くの学生様からご利用いただいております。その他に、NTTフレッツサービスのプロバイダ「aisu」として一般のユーザーにもサービスを提供しております。

メールアドレスが10個まで無料で使える！
aisu なら グローバルIP(固定IP)が+625円で持てる！

月額 1,050円 ※ フレッツADSL接続
月額 1,470円 ※ フレッツ光接続

※サービスのご利用には、アクセス回線としてNTTのフレッツ回線が必要となります。フレッツ回線のお申込みがこれからという方はNTT 東日本特約店の当社にて承ります。

お問い合わせはこちら
株式会社Astec 0120-970-876
ホームページ <http://www.k-astec.co.jp>

同窓生が気軽に 利用できるスペース

中央図書館B棟(新棟)1階のインフォメーション・ラウンジは気軽にお立ち寄りいただけます。会話もOKの空間です。



広がった
学習スペース



バルコニーの読書スペース



専門書40万冊収容の
自動化書庫



インフォメーション・ラウンジ



260名収容の
ライブラリーホール

絵画や 貴重資料の展示



赤い日傘

同窓生から寄贈された絵画が設置され、閲覧室は明るい雰囲気になっています。また、貴重資料は、学習・研究の対象として活用されると同時に、展示を通して広く公開されています。



原田文庫



館内ツアー



一般来館者向けの館内ツアー(30分)があります。事前の申込みが必要です。自動化書庫、貴重資料室の説明や、ラーニング・コモンズ、外国語自律学習支援室(FL-SALC)エリア、ICT講義室などの快適かつ機能的な学習設備、吹き抜け中央階段や屋上緑化など明るく開放的な図書館をご案内していただけます。

問い合わせ先

学術情報サービス課 情報サービス係(中央図書館)
TEL.025-262-6221 FAX.025-262-6221
Mail etsu@lib.niigata-u.ac.jp

最新式の筋トレ器具が卒業生から 学友会運動部に寄贈されました

筋力トレーニング器具の贈呈式



平成25年1月10日、新潟大学五十嵐キャンパスの第一体育館の2階ギャラリーで、卒業生から寄贈された最新式の筋力トレーニング器具のお披露目式がおこなわれました。下條新潟大学長はじめ関係者が出席して、多和田全学同窓会長から学生代表の石澤健太君に目録が手渡されました。

この発端は、平成23年夏に9つの運動部が連名で新潟大学と全学同窓会に対して要望書を提出したことにあります。全学同窓会は、運動部が互いに連携し

て必要性や要望を取りまとめたことを高く評価し、器具の購入資金として1000万円を新潟大学基金へ寄附しました。運動部のOBも連携し、学生からの援助要請に応じました。(3月現在で、129件、143万円余) これらを受けて、新潟大学は新たな専用のトレーニング施設をできるだけ早期に建設できるように検討をすすめています。

Message

新潟大学の名に 恥じないよう頑張ります

筋力トレーニング機器
運営委員会代表

小澤 一勢
(教育学部 4年)



私たち運動部に所属している者にとり、体力増強・怪我防止・競技力向上に筋トレは必要不可欠です。最新式の器具とそれを容れる施設の確保は、これまで長年にわたり大学に要望していたことですが、ようやく実現できて大変嬉しく思います。多額の購入資金を今回のプロジェクトに寄附していただいた全学同窓会ならびに卒業生に対して深く感謝申し上げます。本分である学業は勿論ですが、課外活動にも更に力を入れ、新潟大学の名を全国に広め、先輩の付託に応えたいと思います。

学生支援に深く 感謝します

新潟大学学務部学生支援課長

西方 正雄



新潟大学は、全学同窓会や多数の卒業生からのまとまった寄附の申し出を受けて、学生向けの筋力トレーニング施設をできるだけ早期に建設し、更に広いスペースを確保したいと考えています。現在のトレーニングスペースは狭いため、寄附いただいた全ての器具を収納できませんが、新しい施設では、寄附金の残りで器具を更に追加購入する予定です。竣工の暁には、施設の利用可能な時間帯が広がることと相まって、学生の利便性は更に飛躍的に高まることになります。全学同窓会ならびに卒業生からの心温まる学生支援に深く感謝しています。

産業廃棄物・アスベスト(石綿) リサイクル処理いたします

電気炉による、廃棄物リサイクル処理



処理困難物をリサイクル処理いたします。
製鉄用電気炉を使った安全融解処理です
廃棄物の安全・処理システムです。



フリーダイヤル **0120-79-5053**



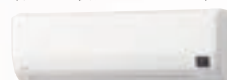
新潟メスキュード(株)

本社 新潟市西区寺尾東1-19-19 TEL:025-269-5701

E-mail messcud@syd.odn.ne.jp HP <http://n-messcud.jp>

CORONA

1年を通して温度が安定している
「地中熱」を利用した
省エネで快適なエアコンです。



家庭用「地中熱」
ヒートポンプエアコン

Geosis 冷暖房

「地中熱」を利用した
省エネエアコンです。
お薦めいたします。

「大気の熱」、「大地の熱」を有効利用。
コロナのヒートポンプ機器は、快適で経済的な
暮らしを実現します。

株式会社 **コロナ**

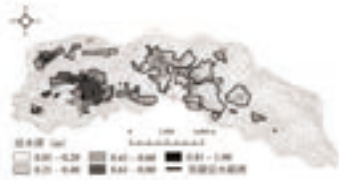
本社 / 〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7 TEL0256(32)2111(代)

農学部

田んぼで水害対策？田んぼダムの取組

近年の気候変動によって、「ゲリラ豪雨」と呼ばれる短期集中型局所的豪雨が増え、水害リスクが高まっています。こうした災害に対して、これまでは河川改修や治水ダムの建設など、大規模な土木工事によって対応してきましたが、財政的・技術的にも限界があります。新潟県では、田んぼを利用した水害対策「田んぼダム」が実践されています。これは、田んぼの排水口に排水量を抑制する装置を設置して、大雨時に雨水を貯留し、下流の水路・河川の流量を低減する取組です。農業水利学研究室では、この田んぼダムの効果を科学的に評価し、普及を進めています。これまでは計算機上でのシミュレーションのみで、効果を算定していましたが、一昨年、田んぼダム実施地域に大きな雨をもたらした「平成23年福島・新潟豪雨災害」があり、初めてその効果を目の当たりにする機会に恵まれました。その結果、取組地区で浸水面積・氾濫水量を約30%減らす効果があることを明らかにしました。また、この災害を契機に、農家の営農に影響を与えず、より安定的な効果が期待できる装置を開発しました。現在、田んぼダムの技術に全国の自治体に関心を寄せています。
(農業水利学研究室 吉川夏樹)

田んぼダムを実施した場合

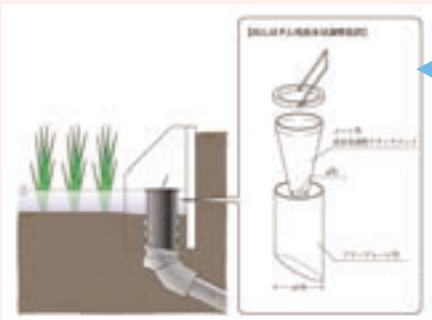


田んぼダムを実施しない場合



平成23年福島・新潟豪雨における浸水シミュレーション結果(白根地区)

新しく開発した「機能分離型装置」



脳研究所

神経難病の克服
それが私たちの研究使命です

当教室は分子生物学・遺伝子工学の萌芽期に神経内科学教室の第4研究室として発足し、神経疾患の遺伝子解析や分子病態解析の主要部門として2003年に独立し、今年節目の10年を迎えました。学内外の教室・研究機関と連携しながら、神経難病の克服を目指して、日々研究を続けています。

研究対象は加齢に伴い発症する神経変性疾患が中心であり、とくに(1)筋萎縮性側索硬化症ALS、(2)脊髄小脳変性症、(3)認知症、(4)脳小血管病の病態解明と治療法の開発を目的とした研究プロジェクトを展開しています。日本で数少ない、神経難病の臨床と基礎の融合拠点である本学脳研究所の利点を生かして、研究成果を世界に発信し、社会に貢献できるよう努力しています。

(分子神経疾患資源解析学分野 小野寺 理)



私たちが新潟大学を応援しています

秋田組合総合病院、株アステック、株アツマテクノス、ANAクラウンプラザホテル新潟、株磯部ハイテック、株伊藤商会、株宇都宮製作所
エアブラック株、株遠藤製作所、金井度量衡株、共立印刷株、株考古堂書店、株コロナ、近野茂公認会計士事務所、佐藤食品工業株
(医)沢橋正歯科医院、株サンケイ情報ファシリティ、三幸製菓株、株三條機械製作所、JA新潟厚生連、新葦工業株、(有)信成科学
信楽園病院、株スタジオ嶋田、ダイエーブロビス株、田辺建設株、玉源株、チサンホテル&コンファレンスセンター新潟
株東陽理化学研究所、有限責任監査法人トーマツ、トップ工業株、公認会計士富岡清嗣事務所、株新潟科学、新潟県信用組合
新潟信用金庫、新潟ダイヤモンド電子株、新潟大学生協同組合、新潟中央青果株、新潟脳外科病院、新潟メスキュード株
日東アリマン株、株バイオニア、株博進堂、株畠山種苗園、株ヒウラ、光タクシー(有)、株廣瀬、新潟税理士法人深滝合同事務所
株福田組、富士フィルムメディカル株、北越紀州製紙株、株北都、八洲設備工業株、株リンコーコーポレーション

協賛企業54社 (平成25年3月31日現在)

新潟大学からのお知らせ

「都道府県対抗
第1回学生観光PRアワード」で
本学学生が観光庁長官賞等を受賞

全国47都道府県66大学の学生が、方言で自分の住む地域を国内外にPRする企画「都道府県対抗第1回学生観光PRアワード」の決勝戦が2月23日(土)に東京情報大学で開催され、法学部の渡辺直美さんが観光庁長官賞、インバウンド賞を受賞しました。

決勝戦では、新潟の特産物や燕市の洋食器などの話題を盛り込んだ地元PRを行いました。今後は、地元の観光情報を発信する「ガクチカ観光アワード親善大使」としての活躍が期待されます。



学長による学生表彰を実施

平成25年3月19日、本学松風会館第1会議室において、在学期間を通じて極めて優秀な学業成績を修めた者や学術研究活動並びに課外活動において顕著な業績・成績を挙げた個人又は団体を讃える学長による学生表彰を実施しました。表彰の対象となったのは、在学期間を通じて極めて優秀な学業成績を修め、高い評価を受けた者5人、学術研究活動において特に顕著な成果を挙げ、学界又は社会的に高い評価を受けたと認められる者4人、課外活動において特に顕著な成果を挙げ、課外活動の振興に功績があったと認められる者2人、表彰に値する行為等があったと認められる者1人でした。

今後も本学では、表彰を実施することで、表彰学生のみならず学生全体の学術研究活動や課外活動に対する意欲を醸成していきます。



新潟大学全学同窓会からのお知らせ

新潟大学・新潟大学全学同窓会・
交流会記念講演会及び懇親会

- 日時：平成25年10月26日(土)
- 場所：ANAクラウンプラザホテル新潟
(新潟市中央区万代5-11-20)

記念講演会

15:00~17:00 **[入場無料]**

「成長戦略と人財育成」

講師／森 正勝氏
(学校法人 国際大学理事)

●プロフィール●

元アクセンチュア社長・会長、前国際大学学長。現在、国際大学特別顧問・評議員他、社外取締役、アドバイザー等を務める。



講演の抄録

アベノミクスで日本経済は20年の低迷から再度立ち上がれるでしょうか。日本企業は200兆円を超える膨大な資金と世界一の技術を蓄積をしてきました。しかしながら、グローバルビジネスリーダーの圧倒的な不足は日本経済の成長を制約するのみならず大きな経営破綻のリスクを抱えています。自らの経験を踏まえてグローバルビジネスリーダーのあり方と日本の進むべき道について話します。

懇親会

17:30~19:30 **会費/5,000円(予定)**

インフォメーション

【講演会・懇親会の申込方法】

講演会・懇親会別に参加希望を明記し、郵便・FAX・メールで全学同窓会事務局へお申し込み下さい。いずれの会も新潟大学関係者以外の方でもご参加になれます。

※参加申込みの詳細についてはホームページの中でご案内する予定です。

締め切り:10月15日(火)

申込先:新潟大学全学同窓会事務局

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL 025-262-7891 FAX025-262-7892
E-mail dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

「新潟大学カード」入会のお願い

- 新潟大学全学同窓会では、新潟大学の発展を支援し、同窓会員へのサービスと連携を深める目的で、三菱UFJニコスと提携して「新潟大学カード」を発行しています。

入会費
年会費
無料



この機に是非ともご入会を!

※詳しくはホームページ

<http://www.niigata-u.ac.jp/dousoukai/card/>をご覧ください。

新潟大学全学同窓会

事務局：〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL025-262-7891 FAX025-262-7892
E-mail dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp
<http://www.niigata-u.ac.jp/dousoukai/>

運営委員会広報部より

広報紙「雪華」は今年で10周年を迎えました。今でこそ広報活動の中心に位置する「雪華」ですが、創刊当初の編集作業はまさに手探りでした。第3号から特集を組むようになり、編集方針や紙面のスタイルを確立することができました。ご寄稿いただいた皆様、編集にご協力いただいた皆様、励ましをいただいた読者の皆様に心より感謝申し上げます。今後も充実した紙面作りに努めてまいります。